



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 名糖産業株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 2207 URL <https://www.meito-sangyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 栗本 正直 (TEL) 052-521-7111
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,290	9.8	△58	—	645	△1.1	468	17.4
2023年3月期第2四半期	10,278	5.5	65	△47.6	652	△3.9	398	△91.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,361百万円(396.4%) 2023年3月期第2四半期 878百万円(△77.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	27.69	—
2023年3月期第2四半期	23.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	76,315	48,799	63.9
2023年3月期	70,276	44,637	63.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 48,799百万円 2023年3月期 44,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,300	2.5	100	5.2	1,200	5.9	800	14.1	47.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、 除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	17,277,683株	2023年3月期	17,265,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	360,444株	2023年3月期	360,230株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	16,910,120株	2023年3月期2Q	16,898,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い経済活動の緩やかな回復が続き、雇用や所得環境の改善がみられました。一方、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、原材料価格・エネルギーコストの高騰などに起因する商品価格の上昇が続き、消費者の食に対する節約志向が高まるなど、企業にとって厳しい経営環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、おいしさ・たのしさ・健康を追求した高付加価値商品の提供、テレビCMや増量企画などの販売促進策を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて9.8%増の11,290百万円となりました。営業損益につきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰などにより、58百万円の営業損失となりました。なお、前年同期は65百万円の営業利益でありました。また、経常利益は、投資有価証券売却益などが増加しましたが営業利益が減少したことなどにより、前年同期と比べて1.1%減の645百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の特別損失に投資有価証券評価損115百万円を計上したことなどもあり、前年同期と比べて17.4%増の468百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰などにより、一部商品の内容量の変更や価格改定を行いました。主力の菓子部門は、テレビCMなどの広告宣伝活動を行ったところ、好調に推移して増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズ（大袋）の商品や人気キャラクター“ちいかわ”とコラボした「ちびさく」などのポケットサイズ（個食）の商品も順調に売上を伸ばしたことに加え、受託商品の売上も大きく伸びて増収となりました。また、キャンディ類は、自社商品・受託商品ともに売上が拡大して増収となりました。そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカリーは、主力のパウムクーヘン類は、液卵の供給制限により売上が大きく落ちましたが、ゼリー類の売上が伸ばしたことなどにより前年同期並みの売上となりました。

粉末飲料部門についても、一部商品の内容量の変更や価格改定を行いました。増量企画などの販売促進活動を展開しました結果、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズやココア類などが好調に推移したことにより増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷凍部門は、自社商品の売上が減少しましたが、受託商品の売上が大きく伸びて増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ12.5%増の9,674百万円となりました。営業利益につきましては、原材料価格・エネルギーコストの高騰や小牧新工場の稼働に伴う減価償却費の増加、子会社にて液卵の供給制限による生産減少に伴う売上原価率の増加などにより前年同期に比べ92.8%減の6百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては、前年同期にまとまった受注があったため当期はその反動で売上が減少したことなどもあり、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに苦戦して減収となりました。

薬品部門につきましては、医薬品関連用途での「デキストラン」および「デキストラン」の誘導体の売上が堅調に推移して増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ3.8%減の1,474百万円となりました。営業利益につきましては、輸出運賃などの販売費が減少したこともあり前年同期に比べ2.4%増の269百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.3%減の142百万円となり、営業利益はゴルフ場の営業収益の減少などにより前年同期に比べ9.5%減の50百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,039百万円増加し、76,315百万円となりました。これは主に、投資有価証券が株価の上昇により増加したことや機械装置及び運搬具が新工場の稼働により増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1,876百万円増加し、27,516百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,162百万円増加し、48,799百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、63.9%（前連結会計年度末63.5%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、5,384百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、1,579百万円（前年同期は120百万円の支出）となりました。資金の主な増加要因は、法人税等の還付および減価償却費によるものであり、主な減少要因は、法人税等の支払いによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、1,040百万円（前年同期は725百万円の収入）となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却等によるものであり、主な減少要因は、有形固定資産の取得によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、507百万円（前年同期は698百万円の支出）となりました。資金の主な減少要因は、長期借入金の返済および配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰など先行き不透明な状況が続くと予想されますが、当第2四半期連結累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、2023年5月12日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,251	5,084
受取手形及び売掛金	5,281	5,080
有価証券	3,000	1,751
商品及び製品	1,317	1,638
仕掛品	539	648
原材料及び貯蔵品	1,434	1,879
その他	1,211	150
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	17,033	16,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,257	9,378
機械装置及び運搬具（純額）	4,739	6,904
その他（純額）	4,906	4,615
有形固定資産合計	18,903	20,898
無形固定資産	83	118
投資その他の資産		
投資有価証券	33,815	38,622
その他	468	476
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	34,255	39,069
固定資産合計	53,242	60,086
資産合計	70,276	76,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,138	3,244
1年内返済予定の長期借入金	765	765
未払法人税等	14	66
その他	3,950	4,280
流動負債合計	7,868	8,357
固定負債		
長期借入金	9,844	9,462
繰延税金負債	4,678	6,436
役員退職慰労引当金	21	8
固定資産撤去費用引当金	92	92
退職給付に係る負債	2,752	2,809
その他	380	349
固定負債合計	17,770	19,159
負債合計	25,639	27,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,323
資本剰余金	76	86
利益剰余金	28,931	29,179
自己株式	△687	△687
株主資本合計	29,633	29,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,928	18,859
退職給付に係る調整累計額	74	37
その他の包括利益累計額合計	15,003	18,897
純資産合計	44,637	48,799
負債純資産合計	70,276	76,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	10,278	11,290
売上原価	7,832	8,932
売上総利益	2,446	2,358
販売費及び一般管理費		
販売促進費	14	15
運送費及び保管費	873	875
給料手当及び賞与	795	817
退職給付費用	49	20
役員退職慰労引当金繰入額	1	2
貸倒引当金繰入額	5	2
減価償却費	41	40
その他	597	642
販売費及び一般管理費合計	2,380	2,416
営業利益又は営業損失(△)	65	△58
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	454	526
投資有価証券売却益	-	121
持分法による投資利益	27	26
企業立地奨励金	106	95
その他	48	56
営業外収益合計	643	828
営業外費用		
支払利息	19	17
固定資産除売却損	29	102
その他	7	4
営業外費用合計	56	124
経常利益	652	645
特別利益		
関係会社株式売却益	-	29
投資有価証券売却益	130	-
特別利益合計	130	29
特別損失		
投資有価証券評価損	115	-
減損損失	98	-
固定資産撤去費用引当金繰入額	31	-
特別損失合計	244	-
税金等調整前四半期純利益	538	674
法人税、住民税及び事業税	43	125
法人税等調整額	96	81
法人税等合計	139	206
四半期純利益	398	468
親会社株主に帰属する四半期純利益	398	468

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	398	468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	476	3,930
退職給付に係る調整額	3	△37
その他の包括利益合計	479	3,893
四半期包括利益	878	4,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	878	4,361

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	538	674
減価償却費	791	843
減損損失	98	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	63	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	△13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	2
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△130	△121
投資有価証券評価損益 (△は益)	115	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△29
有形固定資産除売却損益 (△は益)	29	102
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	31	-
受取利息及び受取配当金	△460	△528
支払利息	19	17
持分法による投資損益 (△は益)	△27	△26
企業立地奨励金	△106	△95
売上債権の増減額 (△は増加)	491	200
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△851	△875
仕入債務の増減額 (△は減少)	669	105
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△20	192
その他	△362	△310
小計	895	143
利息及び配当金の受取額	454	533
利息の支払額	△19	△17
企業立地奨励金の受取額	106	95
法人税等の支払額	△1,563	△101
法人税等の還付額	4	926
営業活動によるキャッシュ・フロー	△120	1,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△100	-
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,748	1,440
有形固定資産の取得による支出	△1,899	△2,417
有形固定資産の売却による収入	0	-
その他	△23	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	725	△1,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	120
長期借入金の返済による支出	△382	△382
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	19	-
配当金の支払額	△257	△219
その他	△27	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△698	△507
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△93	32
現金及び現金同等物の期首残高	5,478	5,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,385	5,384

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,602	1,532	144	10,278	—	10,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,602	1,532	144	10,278	—	10,278
セグメント利益	89	262	55	408	△342	65

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては98百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,674	1,474	142	11,290	—	11,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,674	1,474	142	11,290	—	11,290
セグメント利益	6	269	50	325	△384	△58

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(別紙)

名糖産業株式会社

2024年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

	2019/9月	2020/9月	2021/9月	2022/9月	2023/9月
売上高	10,440	10,962	9,741	10,278	11,290
営業利益	△508	28	125	65	△58
経常利益	2	715	679	652	645
親会社株主に帰属する 四半期純利益	68	591	4,410	398	468

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期予想
売上高	22,995	24,180	21,136	22,727	23,300
営業利益	△629	403	350	95	100
経常利益	279	1,356	1,233	1,132	1,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	608	1,023	1,816	700	800

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。